

守谷駅・周辺街路基本・実施設計・監理

所在地：茨城県守谷市
発注者：茨城県守谷市
期間：2001～2005
施工面積：東口駅前広場 約4,000m²
西口駅前広場 約10,000m²
道路延長：守谷伊奈谷和原線 775m みずぎ野大日線 449m
東口駅前通り線 393m 区画道路 453m
西口駅前通り線 581m 緑道 168m

業務概要：駅舎イメージコンセプトの検討
修景設計
デザイン監理

設計内容：自由通路（舗装、シェルター、ベンチ、エレベーター、エスカレーター、照明、高欄、サイン設計）
駅前広場・街路（舗装、シェルター、トイレ、照明、植栽、ストリートファニチャー、サイン設計）

賞：つくばエクスプレス守谷駅（自由通路を含む）
平成18年度 鉄道建築協会賞 1位（国土交通省鉄道局長賞）

新線「つくばエクスプレス」の駅舎、関東鉄道駅舎、ペDESTリアン・デッキは、視覚的に主要な景観要素となるばかりでなく、歩行者空間のネットワークの観点からも重要な位置をめている。

上記3施設とも新設となることから、自由通路の基本設計に先立ち、つくばエクスプレス駅舎、関東鉄道駅舎、ペDESTリアン・デッキと、自由通路のシェルターとの間の修景上の調整のため、スケッチ等で、駅舎やシェルターのイメージの共有、確認作業が行われた。自由通路の実実施設計段階では、つくばエクスプレス、関東鉄道、茨城県、守谷市からなる「調整委員会」が設けられ、関係者間で、調整、確認が引き続き行われた。

駅舎、自由通路のシェルター、ペDESTリアン・デッキは、スケッチ案とは最終的に異なるデザインとなったが、舗装材・誘導用ブロックの色味ならびに設置位置、サインの設置位置、シェルターの設置範囲、シェルター屋根の高さ、金属部の塗装色、照度、各施設の構造などに、委員会の調整が活かされた。



1 2

1.北口自由通路 シェルター
2.西口駅前広場 大階段



- | | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |

- 1.西口駅前広場 エレベーター
- 2.西口駅前広場 大階段のベンチ
- 3.西口駅前広場 バスバースのベンチ
- 4.西口駅前広場 照明